

レインボータウンFM86

伊藤広規 「旅と人と音楽と」

(第 86回 2019.6.190A)

【第86回オープニング】

みなさんこんばんは。ベーシストの伊藤広規です。

レインボータウンFM、伊藤広規「旅と人と音楽と」

今夜は第86回目！それでは行ってみましょう！

【説明1】

この番組は、周波数88.5メガヘルツ「レインボータウンFM」から江東区をキーステーションにその周辺のエリアにお届けしています。

サイマルラジオ、リスラジなどのインターネットラジオなら、日本のみならず世界中でお聞きいただけます。

【トーク】

カラッとした空が恋しくなってきました。今夜は夏を先取り！ガツンとFUNK！

【1 曲目】

graham central station1974年「hair」

【曲途中】

ラリー グラハムといえば、この「ベキッ」というサムピッキングの音。ラリー本人はThumping & Plucking(タッピング & プラッキング)と呼んでるようですが、大体の人はチョッパーと言いますね。私は、「チョッパー」という呼び方が好きではなくて、「スラップ」と呼んでます。ギターの歪んだ音と同じくらい私にはカッコいいと思える音です。20代前半までギターリストだった私が、このスラップベースに出くわさなかったら、ベーシストにはなってなかったと思います。ソウルやFUNKは、それまで弾くのは好きでしたが、ベースでなくギターです。まさか、スラップにハマってベーシストになるとは思ってもみませんでした。

【1 曲目が終わり2 曲目】

Graham Central Station1978年アルバム「My Radio Sure Sound Good To Me」から「Is It Love」

【曲途中】

FUNKは、ダンスミュージック！誰もがリズムをとって動きたくなくなってしまう。ベースと、ドラム、シンプルにすればするほどノリがわかる。ドラムもベースも手数が多いと、適当にごまかせるんですけど、上手そうに難しいこととしているように聞こえるだけです。グルーヴとは違うんですね。

バスドラとスネアとスラップ1発のうねり。たったそれだけで、踊りたくなる様な、気持ちよくなる音楽は格別です。

この曲聴いてたら、シンプルなFUNKな曲を作りたくなくなりました。

【2 曲目終わって3 曲目】

Larry graham1980年のソロアルバムから「one in a million you」

【曲途中】

この曲は 私のオーディオ記念曲なんです。20代半ばに足立区から六本木に引っ越して、新しく買ったオーディオをセットして、

初めて聴いたレコードがこのアルバムの1曲目。スピーカーから聞こえてきた音は、実家のオーディオには敵わないんです。初めての一人住まいの期待感も相まって何気にグッと来たのを覚えてます。

聴きながら飲んだビールのうまさも格別でした。

《曲終わり》

【エンディング 短い】

さて、今週の伊藤広規 旅と人と音楽と。みなさんいかがでしたでしょうか？

この番組への感想や私へのメッセージなど、伊藤広規『旅と人と音楽と』公式サイトからいただけるととっても嬉しいです。
URLはKokiradio.net(コーキレディオドットネット)、アルファベットでケーオーケーアイ アールエーディーアイオー ドットネットです。

メッセージをくださった方の中から毎月1名さまに、プレゼント。
新作広規ストールと広規ラジオ 特製グッズをプレゼントします。
今月もドシドシメッセージお送りください。

では、来週も水曜日
この時間に！

《間》

伊藤広規でした。